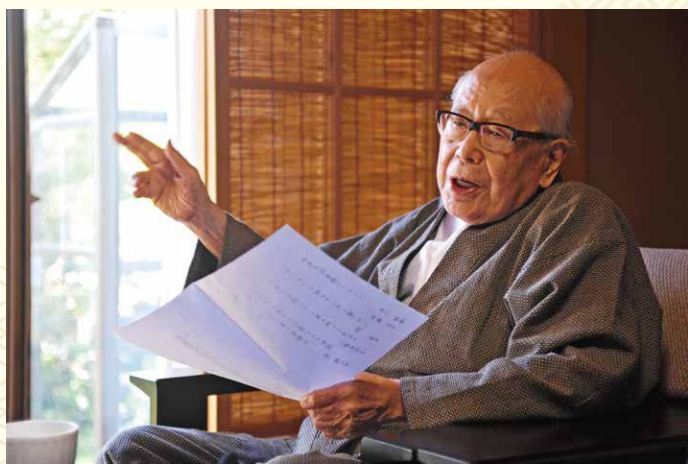


金子兜太展

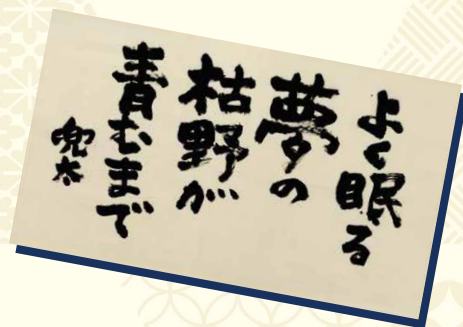
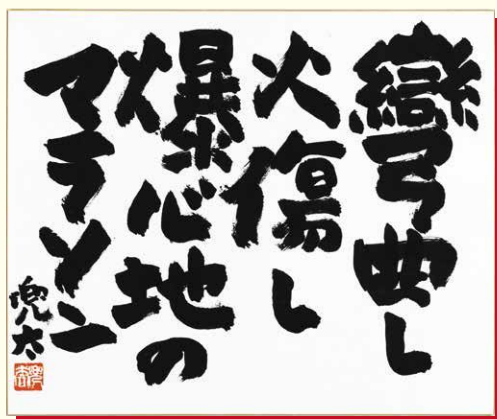
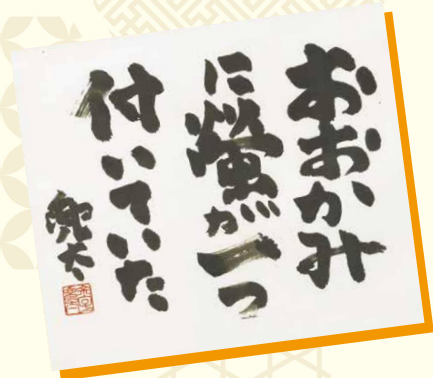
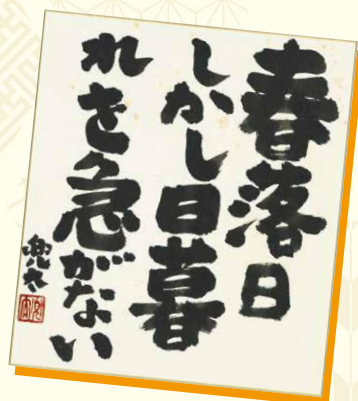
しかし日暮れを急がない

TOTA KANEKO

現代俳句の巨匠



撮影 樋口一成



2024年 9月14日[土]～11月24日[日]

- [休館日] 月曜日(月曜日が祝日、振替休日の場合は開館し、その翌日は休館)
- [開館時間] 展示室 9:00～17:00(入室は16:30まで)
閲覧室 9:00～19:00(土・日・祝日は18:00まで)
- [観覧料] 一般600(480)円 大学生400(320)円
・()内は20名以上の団体料金、県内宿泊者割引料金
・高校生以下の児童・生徒、県内在住の65歳以上の方は無料(健康保険証等持参)。
・障害者手帳をご持参の方、およびその介護をされる方は無料。
・11月20日(水)県民の日はどなたでも無料。
- [前売券] 一般480円 大学生320円 当館受付で9月13日(金)まで販売いたします。

- [後援] 現代俳句協会 NHK甲府放送局 テレビ山梨 山梨日日新聞社・山梨放送
テレビ朝日甲府支局 朝日新聞甲府総局 毎日新聞甲府支局 読売新聞甲府支局
産経新聞甲府支局 共同通信社甲府支局 時事通信社甲府支局 山梨新報社
日本ネットワークサービス エフエム甲府 エフエム富士

- [協力] 山梨交通



そのことばのつづきへ

山梨県立文学館

Yamanashi Prefectural Museum of Literature

かね こうた

金子兜太(1919～2018 埼玉県生まれ)は、前衛俳句、社会性俳句の中心的存在として戦後を代表する俳人。生まれ育った秩父への思いや、小林一茶への共感などを根底に創作活動を繰り広げた。太平洋戦争中、海軍主計中尉として赴任したトラック島(現チューク諸島)での戦場体験から、反戦への思いを晩年まで持ち続けた。

本展では、その生涯と作品の魅力を紹介し、今日における“俳人兜太”の意義を探っていく。

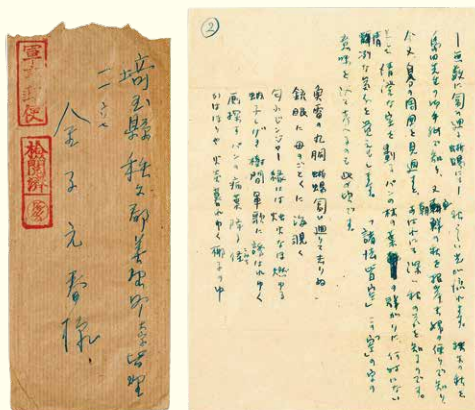


金子兜太「六年の綴方」より 1931(昭和6)年

みな
皆野小学校6年生のときの作文。
「私の希望」には、父を継いで医
者になろうと思うと記す。

金子兜太 第一句集『少年』 1955(昭和30)年10月 風発行所

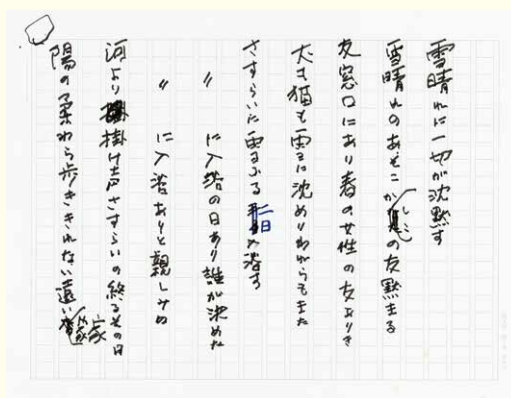
1940年から1955年までの句を精選
し収録。第5回現代俳句協会賞受賞。



金子兜太 父・元春宛書簡(部分) 1944(昭和19)年11月1日

この年3月に赴任した戦地のトラック島で書かれたと思われる。2枚目は戦地での作6句が記されている。
元春(1889～1977)は開業医で俳人、俳号・伊昔紅。

* 資料はすべて個人蔵



金子兜太 遺作となった9句の句稿 「海程」第541号(2018年4月)掲載

金子兜太 筆「秩父俳句道場」の会場に掲げた看板

「秩父俳句道場」は兜太を中心とする「海程」同人たちの鍛錬句会。
1979年から2017年まで続いた。



関連イベント 講演会、座談会、映画会はホームページが電話で、ワークショップ、講座は電話でお申し込みください。

◆ 講演会

- ・「兜太と龍太 一その交友の歳月」
講師:井上康明(俳人・「郭公」主宰)
9月16日(月・祝) 13:30～15:00
会場:講堂 定員300名 要申込 *参加無料

- ・「金子兜太さんのこと」
講師:佐佐木幸綱(歌人・国文学者・「心の花」主宰)
聞き手:三枝昂之(当館館長)
9月29日(日) 13:30～14:30
会場:講堂 定員300名 要申込 *参加無料

◆ 講座(年間文学講座3)

- 「金子兜太展のみどころ」
講師:中野和子(当館学芸員)
10月6日(日) 14:00～15:10
会場:研修室 定員60名 要申込
*参加無料

◆ 映画会

- 「天地悠々 兜太・俳句の一本道」
11月9日(土) 13:30～15:00
2019年 脚本・監督 河邑厚徳 出演 金子兜太
会場:講堂 定員300名
要申込(10月11日申込開始) *入場無料

◆ 座談会

- 「兜太作品の原点を語る
ー第一句集『少年』・第二句集『金子兜太句集』を中心にー」
出演
高野ムツオ(俳人・「小熊座」主宰)
高山れおな(俳人・「豈」「翻車魚」同人)
佐藤文香(俳人・「翻車魚」「鏡」同人)
10月26日(土) 13:30～15:00
会場:講堂 定員300名 要申込 *参加無料

◆ ワークショップ

- はんこ彫り(篆刻)をしよう!
講師:望月煌雅(甲州手彫印章 伝統工芸士)
10月27日(日) 13:30～15:30
会場:研修室 定員20名(小学4年生以上)
要申込(9月10日申込開始) *材料費500円

◆ 閲覧室資料紹介

- 「俳句への誘い」
9月13日(金)～11月24日(日)
会場:1階 閲覧室 *入場無料
金子兜太や俳句に関する図書・雑誌を紹介し、
資料は手に取ってご覧いただけます。

そのことばのつづきへ 山梨県立文学館 Yamanashi Prefectural Museum of Literature

〒400-0065 山梨県甲府市貫川11-5-35
TEL:055-235-8080 FAX:055-226-9032
<https://www.bungakukan.pref.yamanashi.jp/>



公式SNS



交通のご案内

JR中央本線甲府駅より

- JR甲府駅バスターミナル(南口)1番乗り場より、39系統御勅使(みだいに)、03・04系統 竜王駅経由敷島営業所、35系統 大草経由韮崎駅、30系統 貫川(くがわ)団地各行きバスで約15分、「山梨県立美術館」下車。
※山梨県立文学館ホームページからも、バスの時刻表をご覧ください。
- タクシーで約15分。

中央自動車道 甲府昭和インターチェンジより

- 料金所を昇仙峡・諏訪方面へ出て、200m先を左折、西条北交差点を左折、アルプス通りを約2km直進、貫川(くがわ)交番前交差点を左折、国道52号を約1km左側。

